

季刊 地域と農政を結ぶ

vol.
16

令和2年4月



セルリー（浜松市）

CONTENTS

- 巻頭言 小林地方参事官着任ごあいさつ
- 特集 新たな食料・農業・農村基本計画
- 新型コロナウイルス対策 農業者の事業継続に関するガイドライン
- 統計の部屋 「平成30年市町村別農業産出額（推計）」を公表しました
- 優良事例紹介 カクト・ロコ（浜松市） ～多肉植物と女性の起業～
- トピックス 「きぬむすめ」が「にこまる」とともに食味「特A」評価
YouTubeで静岡の農産物を紹介
収入保険に加入しましょう・農山漁村女性活躍表彰ほか

小林地方参事官着任ごあいさつ

令和2年4月1日付けで、緒方地方参事官の後任に着任いたしました小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

静岡県の農林水産業に関わる関係機関の皆様方には、日頃より農林水産行政の推進並びに各種業務への御支援、御協力を賜り誠にありがとうございます。

静岡在勤は初めてとなりますが、有名なお茶やみかん、いちごなどのほか、様々な農産物が生産されていると伺っております。静岡産農産物愛を持って仕事をしてまいりたいと思っております。

私が担当します地方参事官室では、現場と農政を結ぶ業務として、県内の各地域にくまなく出向き、「農政を現場に伝える」、「現場の声を汲み上げる」、「現場と共に解決する」という活動を行っていますが、県内各地域を担当する職員とともに農家の皆様や関係者の皆様のもとに伺い、きめ細かな情報提供や施策相談を通じまして現場の声を農林水産施策に反映できるよう、また、静岡県の農林水産業の発展に貢献できるよう全職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。各地域を担当する職員も4月の異動で、新しく担当となる職員もおります。私共々よろしくお願いいたします。

最近の農政をめぐる状況としましては、「新たな食料・農業・農村基本計画」が閣議決定されるとともに「茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針」や「果樹農業振興基本方針」等の見直しが行われました。このような状況に適確に対応した農政の推進に尽力してまいりたいと考えています。

今後も当拠点が、より身近で信頼、相談していただける組織となるよう全力で取り組んでまいりますので、皆様からの御指導・御鞭撻をよろしくお願いいたします。



地方参事官（支局長）
小林康弘



総括農政推進官
（支局長代理）
阿部 肇

複数市町で営農する

認定農業者の手続きが簡単になります！

複数市町で農業を営む農業者の場合は、市町に代わって**都道府県又は国が農業経営改善計画の認定手続**を一括で行います。（2020年4月から実施）

○ 国・県認定の申請先

- ・ 農業経営を営む地域が、複数市町にまたがる場合で、県内に存する場合は県知事。複数都道府県にまたがる場合は、地方農政局長（単一地方農政局の管内）又は農林水産大臣（複数の地方農政局の管区にまたがる）。
- ・ 電子申請による手続も可能になります。

令和2年度地方参事官室担当者をご紹介します

みなさまのところへ
お伺いします。

〈中部地域担当〉



静岡市・富士宮市・島田市・富士市・
焼津市・藤枝市・御殿場市・牧之原
市・小山町・吉田町・川根本町

〈西部地域担当〉



浜松市・磐田市・掛川市・袋井市・
湖西市・御前崎市・菊川市・森町

〈企画担当〉



静岡県全域
地方参事官室の総合窓口

農政に関する
意見・要望・質問を
お寄せください。

〈東部地域担当〉



沼津市・熱海市・三島市・伊東市・
下田市・裾野市・伊豆市・伊豆の国
市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・
松崎町・西伊豆町・函南町・清水
町・長泉町



新たな食料・農業・農村基本計画

～我が国の食と活力ある農業・農村を次の世代につなぐために～

令和2年3月、新たな「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定されました。新たな基本計画は、我が国の食料・農業・農村が次世代へと持続的に継承され、国民生活の安定や国際社会に貢献していくための今後10年間の農政の指針となるものです。今回はその内容をご紹介します。

施策についての基本的な方針

- ・農業・農村の持続性を高め、食と環境を次世代に継承していくためには、これまでの改革を引き続き推進するとともに、**経営規模の大小や中山間地域といった条件にかかわらず、成長産業化の土台となる生産基盤を強化**していくことで、多様化する国内外の需要に対応しつつ、創意工夫により良質な農産物を合理的な価格で安定的に供給することができる農業構造を実現していく必要がある。
- ・同時に、農村を維持し、次の世代に継承していくために、所得と雇用機会の確保や、農村に住み続けるための条件整備、農村における新たな活力の創出といった視点から、**幅広い関係者と連携した「地域政策の総合化」による施策を講じ、農村の持続性を高め、農業・農村の有する多面的機能を適切かつ十分に発揮していくことも必要である。**
- ・**産業政策と地域政策を引き続き車の両輪として推進し、将来にわたって国民生活に不可欠な食料を安定的に供給し、食料自給率の向上と食料安全保障の確立を図ることが課題である。**

【施策の推進に当たっての基本的な視点】

- ・消費者や実需者のニーズに即した**施策の推進**
- ・食料安全保障の確立と農業・農村の重要性についての**国民的合意の形成**
- ・農業の持続性確保に向けた**人材の育成・確保**と**生産基盤の強化**に向けた施策の展開
- ・**スマート農業の加速化**と農業の**デジタルトランスフォーメーションの推進**
- ・**地域政策の総合化**と多面的機能の維持・発揮
- ・災害や家畜疾病等、気候変動といった農業の持続性を脅かす**リスクへの対応強化**
- ・**農業・農村の所得の増大**に向けた施策の推進
- ・**SDGsを契機とした持続可能な取組**を後押しする施策の展開

食料自給率の目標

○食料自給率目標は実現可能性を考慮して設定

【総合食料自給率】	2018年	2030年
・供給熱量ベース	37% →	45%
・生産額ベース	66% →	75%
【飼料自給率及び食料国産率】	2018年	2030年
・飼料自給率	25% →	34%
・供給熱量ベース食料国産率	46% →	53%
・生産額ベース食料国産率	69% →	79%

※国内生産に着目した目標として新たに「食料国産率目標」を設定。

○我が国の食料の潜在生産能力を評価する指標として食料自給力指標を提示



講 ず べ き 施 策



【食料の安定供給の確保に関する施策】

- 新たな価値の創出による需要の開拓
- グローバルマーケットの戦略的な開拓
- 消費者と食・農とのつながりの深化
- 国際的な動向等に対応した**食品の安全確保と消費者の信頼の確保**
- 食料供給の**リスク**を見据えた総合的な**食料安全保障**の確立
- TPP等**新たな国際環境への対応**、今後の国際交渉への戦略的な対応

【農業の持続的な発展に関する施策】

- 力強く持続可能な農業構造の実現に向けた**担い手の育成・確保**
- 農業現場を支える**多様な人材や主体の活躍**
- 担い手等への**農地集積・集約化と農地の確保**
- 農業経営の安定化**に向けた取組の推進
- 農業の成長産業化や国土強靱化に資する**農業生産基盤整備**
- 需要構造等の変化に対応した**生産基盤の強化**と流通・加工構造の合理化
- 情報通信技術等の活用による**農業生産・流通現場のイノベーションの促進**
- 気候変動への対応等**環境政策**の推進



【農村の振興に関する施策】

- 地域資源を活用した**所得と雇用機会の確保**
- 中山間地域等をはじめとする**農村に人が住み続けるための条件整備**
- 農村を支える**新たな動きや活力の創出**
- 「三つの柱」を継続的に進めるための**関係府省で連携した仕組みづくり**



【東日本大震災からの復旧・復興と大規模自然災害への対応に関する施策】

- 東日本大震災からの復旧・復興
- 大規模自然災害への備え
- 大規模自然災害からの復旧

【団体に関する施策】

【食と農に関する国民運動の展開等を通じた国民的合意の形成に関する施策】

【新型コロナウイルス感染症をはじめとする新たな感染症への対応】

※詳しい内容については、農林水産省のホームページをご覧ください。

農業農村基本計画

検索



統計の部屋

「平成30年市町村別農業産出額（推計）」を公表しました

農林水産省では、令和2年3月、「平成30年市町村別農業産出額」（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額）を公表しました。

この統計結果は、生産農業所得統計における都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて按分し、市町村別の農業産出額（推計）として毎年提供しています。

静岡県内市町村別では、浜松市が486億円（県計に占める割合23.0%）で最も多く、全国7位となっています。

詳細なデータについては、下記URLをご参照ください。



https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sityoson_sansyutu/index.html

農林水産省ホームページから「統計情報」を選択→「分野別分類/農家の所得や生産コスト、農業産出額など」

平成30年市町村別農業産出額（推計）の上位部門 （農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）

単位：1,000万円

市町村	農業 産出額	第1位部門		第2位部門	
		部門	算出額	部門	算出額
静岡市	1,675	野菜	576	果実	511
浜松市	4,867	果実	1,601	野菜	1,348
沼津市	663	果実	264	野菜	112
熱海市	36	果実	28	野菜	7
三島市	467	野菜	271	豚	57
富士宮市	2,095	鶏卵	819	乳用牛	481
伊東市	110	野菜	51	果実	39
島田市	754	工芸農作物	292	加工農産物	188
富士市	670	野菜	139	花き	136
磐田市	1,240	野菜	588	米	221
焼津市	516	野菜	208	鶏	147
掛川市	1,427	野菜	447	工芸農作物	220
藤枝市	512	野菜	168	果実	95
御殿場市	225	米	94	野菜	47
袋井市	800	野菜	330	米	164
下田市	26	野菜	13	米、果実	5
裾野市	73	野菜	32	米	17
湖西市	776	豚	193	野菜	151

市町村	農業 産出額	第1位部門		第2位部門	
		部門	算出額	部門	算出額
伊豆市	214	野菜	107	米	48
御前崎市	666	野菜	345	肉用牛	65
菊川市	608	工芸農作物	199	野菜	134
伊豆の国市	430	野菜	266	米	46
牧之原市	980	工芸農作物	316	野菜	266
東伊豆町	97	果実	44	野菜	38
河津町	67	野菜	30	果実	19
南伊豆町	59	野菜	30	花き	15
松崎町	22	野菜	9	米	7
西伊豆町	12	花き	6	野菜	3
函南町	263	野菜	103	乳用牛	97
清水町	14	野菜	8	米	6
長泉町	145	野菜	53	肉用牛	38
小山町	73	米	40	野菜	24
吉田町	97	野菜	46	米	33
川根本町	88	工芸農作物	47	加工農産物	30
森町	351	野菜	190	米	49

※ 下田市の第2位部門の果実と米は同額。

関東農政局管内の分析結果を関東農政局のWebサイトに掲載していますので、ご参照ください。

統計をみよう

検索

株式会社カクト・ロコ（浜松市）

女性が輝ける職場から、多肉植物を全国へ



【会社概要】

（株）カクト・ロコは1960年代にみかんの栽培を開始し、70年代は肥育牛や梨の栽培など多角化を図り、事業のメインを畜産に移行。80年代は農産物の直売に力を入れ始めました。89年に畜産業からサボテン栽培に転換し、2004年「株式会社カクト・ロコ」として法人化。栽培の中心を多肉植物に移行しました。

その後は直営店のリニューアルやカフェスペースの新設、販売商品の拡充などを行い、全国のホームセンターに納品するなど、「多肉植物」を全国に届けています。

【女性の登用、働きやすい環境の整備】

多肉植物の生産・販売には女性の細やかな感性が重要との考えから、創業時から女性を積極的に雇用。会社の4部門（寄せ植え、生産、出荷、ネット・店舗販売）の責任者は全て女性であり、販売管理に基づく生産計画を行うよう、各部門の責任者が細やかに連携して業務に従事しています。

働く女性の家庭環境に配慮し柔軟に勤務時間・形態を変えられるようにするとともに、急な子供の発病・行事にも対応できるよう人員に余裕をもたせています。また、生産現場・集出荷場の負担軽減・効率化を図るとともに、トイレや休憩場所の整備など女性目線での職場環境の改善を実施しています。



平成30年度農林水産祭において、「園芸部門」及び「女性の活躍部門」で内閣総理大臣賞をダブル受賞しました。



株式会社カクト・ロコ

所在地：浜松市北区都田町7555-61

TEL：053-428-2694

代表取締役：野末 陽平

<http://cactoloco.jp/>





静岡県産「きぬむすめ」が食味ランキングで「特A」評価

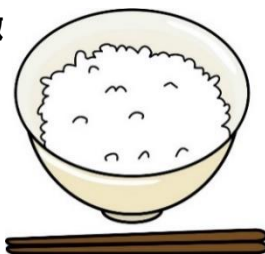
日本穀物検定協会が毎年発表している「米の食味ランキング」で、静岡県産「きぬむすめ」が、最高評価である「特A」に認定されました。静岡県産では、昨年度・今年度「特A」に認定された「にこまる」（西部地区産）に続く、2例目の認定となりました。

- 米の食味ランキング -

財団法人日本穀物検定協会が昭和46年度米から実施しています。主な産地品種銘柄について、炊飯した白飯を試食して評価する食味試験でランキングを決定します。

「きぬむすめ」の特徴

「キヌヒカリ」と「祭り晴」をかけ合わせて生まれたお米です。やわらかい食感で、味はさっぱりとしていて色々な料理に合うお米です。冷めても美味しいので、お弁当にもおすすめです。



YouTube で静岡の農産物を紹介しています！

農林水産省の職員が YouTube や SNS を使って農山漁村や農林水産物の魅力を情報発信するプロジェクト、「BUZZ MAFF（ばずまふ）」が始まりました。関東農政局 静岡県拠点では、「しぞ〜か食堂」と題して、食材の宝庫・静岡県産の食材を使った調理の動画を公開しています。動画は県内各地のJAや生産者のみなさんのご協力をいただきながら制作しています。これからも県内各地にお邪魔して取材をさせていただきますので、よろしくお願いします。



YouTubeの
BUZZ MAFF
チャンネルで
公開中！

これからも
どんどん
紹介するよ〜



※4月1日現在、下記の動画を公開しています。

ご協力いただいたみなさん、ありがとうございます。

【しぞ〜か食堂】静岡の意外な!? 特産を使ったレシピを紹介します

#01 メキャベツ #02 プチヴェール #03 えだまめ #04 セルリー #05 スルガエレガント #06 ナス

さまざまなリスクに備えて～収入保険に加入しましょう



収入保険は、全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償します。

けがや病気で
収穫ができない



災害で作付不能に
なった



自然災害や鳥獣害などで
収量が下がった



取引先が倒産した



農林水産省では、収入保険と農業共済の2つの保険（農業保険）を用意しています。農業保険は公的保険であり、保険料の一部は国が補助します。

※令和2年1月から、収入保険に「掛金の安いタイプ」ができました。

詳しい内容については、お近くの農業共済組合へお問い合わせください。

収入保険

検索

農山漁村女性活躍表彰で農林水産大臣賞受賞



農業の未来を担う若手農業者や女性農業者の優れた取組を表彰する、令和元年度「農山漁村女性活躍表彰」

（主催・全国農業会議所）の若手女性チャレンジ部門で、御前崎市の栗本めぐみさんが最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

栗本さんは、大学卒業後、青果物市場での勤務などを経て、静岡県の新規就農者支援制度を利用して、平成21年に御前崎市で就農。経営改善による労働時間の大幅な削減を達成、「第23回県いちご果実品評会」では農林水産大臣賞など、数々の受賞歴があります。また、和菓子会社や量販店等との取引、講演や視察の受け入れなど、多岐にわたる活動を行っており、特に新規就農者に対する支援に力を入れています。



出典：aff(あふ) 2014年4月号

農山漁村女性活躍

検索

「無事力エル！」令和2年度春の農作業安全対策



農林水産省では、全国の関係団体・企業等のご協力のもと、春（3～5月）と秋（9～10月）を重点期間として、「農作業安全確認運動」を実施しています。



農業就業人口が減少する中、農作業時の死亡事故により、毎年300人以上が犠牲となっています。

死亡事故が多発している常用型農業機械での作業時には、シートベルト・ヘルメットの着用を徹底し、転落・転倒死亡事故を防ぎましょう。

悲惨な事故を減少させるため、農作業安全確認運動への取り組みをお願いします。

農作業安全対策

検索

「農のいとなみと鉄道フォトコンテスト」結果発表



関東農政局では、平成28年度から、関東地域の「農のいとなみ」と鉄道の魅力が表現された写真を募集する「農のいとなみと鉄道フォトコンテスト」を開催しています。関東地域には魅力的な「農のいとなみ」があり、鉄道を利用して、素晴らしい農業景観に出会えることを、より多くの方々に知っていただきたいと思います。

4回目の開催となる令和元年度のコンテストでは、静岡県内から、U-18特別賞を受賞した秋山陽菜さん（県立田方農業高校）をはじめとして3名の方が入選されました。



【U-18特別賞】「私の目線」
秋山陽菜さんの作品（伊豆箱根鉄道駿豆線）



【入選】「茶畑を走る」
松浦嘉人さんの作品
（天竜浜名湖鉄道）



【入選】「収穫の秋」
望月正晴さんの作品（JR
東海道新幹線）

農のいとなみ

検索

知っていますか？

茶カテキンの抗ウイルス機能

緑茶に多く含まれるカテキンは、インフルエンザウイルスの表面にある突起に結合し、細胞表面にウイルスが吸着するのを阻害する機能があります。静岡県立大が、小学生約2,600人を対象に行った調査により、緑茶を1日1～5杯、週6日以上飲むと、インフルエンザの発症が約40～50%減少する結果が得られています。



静岡県庁報道発表資料（令和2年3月16日）より



「駝鳥(ダチョウ)」(西伊豆町)

西天城高原で育ったダチョウの肉は、
低カロリー・高タンパクで、くせのない味が特徴です。
撮影協力：株式会社HOLY たまや王国(6次産業化認定事業者)

関東農政局 静岡県拠点

〒420-8618 静岡市葵区東草深町7番18号
TEL 054-246-6121 FAX 054-246-6226

【地方参事官室】	054-246-6121
【経営所得安定対策等担当】	054-200-5500
【消費・安全チーム】	054-246-6959
【統計チーム】（経営・構造）	054-246-0612
（生産流通）	054-246-6123

JR静岡駅より約1.8km（徒歩約25分）
バス：JR静岡駅北口10番のりば
県立病院方面「アイセル21」下車

